

駒澤大学2-3桐蔭横浜大学

まさかの逆転劇で 1部昇格絶望的に...



逆転され落胆する選手ら
(撮影：猪熊脩登)

10月28日 13:50 駒沢オリンピック公園 補助競技場

駒大 2 (2-1) 3 桐蔭大
(0-2)

得点者 (アシスト)

[駒]20分奥村
[駒]36分若山(田中)

[青]42分古澤(大泉)
[青]54分青木
[青]71分山根

KOMAZAWA

GK①大石健太(3)
DF②⑤柳川剛輝(1)
(78分⑦平野篤志(1))
DF④三澤祥馬(4)
DF③伊藤慎人(2)
DF③田中雄一(3)
MF⑥若山瞭太(3)
MF⑧碓井鉄平(3)
MF⑦奥村 情(4)
(69分⑤宮城雅史(4))
MF⑩湯澤洋介(4)
MF⑨山本大貴(3)
FW⑫小牟田洋祐(4)
(66分⑩小牧成互(3))

S U B

GK⑭檜山昇吾(3)
DF⑬友廣壮希(3)
DF⑮嶋谷昇大(1)
MF⑲中村 駿(1)

MANAGER

秋田浩一

TOINYOKOHAMA

GK①島崎恭平(3)
DF③野上結貴(3)
DF④古澤慶太(2)
DF⑬香西克哉(3)
DF⑩金子雄拓(1)
MF⑤平山玲央(3)
(69分③坪井秀斗(2))
MF⑧山崎将(2)
(50分⑦山根視来(3))
(90+1分⑫久保昌成(4))
MF⑨大泉和也(3)
MF⑩引間俊也(4)
FW⑫福島翔太郎(1)
FW⑪青木翔太(4)

S U B

GK⑭吉田裕司(3)
DF⑲川本俊輔(2)
DF⑮小林誠(4)
MF⑲岡本洵(2)

MANAGER

八城 修

[シュート]11:13 [GK]7:10 [OK] 5:0 [直接FK]24:22
[間接FK]4:5 [主審]佐藤敬太郎 [観衆]350人

警告(C) / 退場(S)

[駒]52分湯澤洋介(C) [桐]18分青木翔太(C)
[駒]61分伊藤慎人(C) [桐]39分引間俊也(C)
[駒]87分平野篤志(C) [桐]85分香西克哉(C)
[駒]90+2分碓井鉄平(C)
※データの左側が駒大

今シーズン最も痛い黒星に

駒大は1部昇格を占う大一番に臨んだ。この試合で勝てば勝ち点差は「2」と一気に縮まる。しかし負ければ差は「8」と広がり、1部昇格は絶望的となる。なんとしても勝ちたいところだが2-3と痛すぎる逆転負けを喫し、昇格へかなり難航な状況に陥った。

序盤ペースを握っていたのは駒大だった。駒大の持ち味である前線にとにかくボールを持ち込むサッカーが浸透していた。すると前半20分、山本が右サイドからクロスを供給し、そこから生まれたこぼれ球を奥村が冷静に決め先制点を奪う。その後も勢いに乗り、前半36分、今度は右サイドからの田中のFKを頭のダイレクトで合わせ追加点を奪う。スタートはかなり順調だった。しかし、2点目を奪うも、駒大の「悪い癖」が頭を過る。前半2点リードで折り返すも後半4失点し、逆転負けを喫した16節の朝鮮大戦のように後期のこれまで6試合の成績は3勝3敗そのうち朝鮮大戦を含む2試合が逆転負けをしている。不安定な守備をいかに修正されたかが注目された今節。なんとか失点を免れたところであった。しかし、前半41分桐蔭の古澤と大泉のワンツ

一から抜け出した古澤が大石の股の下に冷静にボールを入れられ1点返される。このまま前半終了したが雲行きが怪しくなり迎えた後半は、前半の時とは打って変わり相手にかなりボールを支配され、幾度となくピンチを迎える。すると54分、大石が1対1になるというピンチを迎え、それを振り切られる。DF陣が戻って来るが、ボックス内にいた横浜FCへの内定が決まった青木にボールが渡りキーパーのいないゴールへとボールを押し込まれ同点に追いつかれる。冷静さが欠けてしまった駒大は74分、大石と相手が接触し、こぼれたところに逆転弾を決められる。嫌な予感が的中した。負けたら昇格への望みが消えかけてしまう駒大は、その後もパワープレーで攻め込むが思いは届かず劇的な敗戦で試合は終了した。

後期リーグ3度目の逆転負けを喫し、今節の敗戦で2位桐蔭横浜大との勝ち点差は「8」に広がる。昇格はかなり難しくなったが、完全に昇格の望みが消滅したわけではない。最後まで全力を尽くしてほしい。(清村 亮太)